【危害・危険情報】

平成２６年８月８日
生　活　文　化　局

抱っこひもからの転落に注意！

抱っこひもからの転落により低月齢の赤ちゃんがけがをする事故が起きています。頭の骨を折るなどして入院に至るケースもあります。転落事故は、抱っこひも（おんぶひも）の着け外しの時、抱っこの状態で前かがみになった時に多く起きており、注意が必要です。

重症な事故事例

〇財布を取ろうとして前かがみになった時に、子供が滑るように抱っこひもからコンクリートの地面に転落した。
（4 か月児　外傷性くも膜下出血）

〇抱っこひもの緩みを調整するため留め具を付け替えようとした時に、抱っこひもの横から子供がすり抜けてフローリング床に転落した。（1 か月児　前頭骨骨折）

〇おんぶしようと背負いあげた時に、子供が動いてフローリング床に転落した。（7 か月児　頭部骨折）

事故を防ぐポイント

● **抱っこひも（おんぶひも）の着け外しを、立ったまましない！**
着け外しは、しゃがんだり、椅子に座るなど、低い体勢で行いましょう。外出先で立ったまま行う場合は、おむつ交換台を利用するなど、安定した場所で行いましょう。

● **抱っこで前かがみするときは、赤ちゃんに手を添えて！**
とっさの時に赤ちゃんを守れるように、抱っこの時は片手を空けておきましょう。かがむ時にはひざを曲げ、赤ちゃんが滑り落ちないように手を添えるなど、日頃から練習しておきましょう。

● **取扱説明書をしっかり読みましょう！**
取扱説明書には、抱っこひもを使用する時の注意事項が記載されています。使用方法を動画で説明しているメーカーのホームページもありますので、正しい使い方を確認しましょう。

★東京都商品等安全対策協議会では、「抱っこひも等の安全対策」の検討に着手しました。今後、アンケート調査や事故再現実験を行い、具体的な安全対策を提言していく予定です。
http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/kyougikai/h26/

問合せ先　生活文化局消費生活部生活安全課
TEL　03－5388－3055